

## 第2回 おらほの学校づくり協議会 議事録

◇学校運営の説明	11:30～11:45
◇授業参観	11:45～12:15
◇給食試食	12:15～12:45
◇協議会	12:50～13:40
◇6年生との懇談	13:40～14:10

日時：令和5年11月14日（火）

11:30～14:20

場所：東郷小学校 会議室

### ◇学校運営状況の中間報告（海藤 陽子校長）

- ・学校教育目標「思い描く学校を共に創り上げる子ども」について、やってきた具体的な取り組みを中心に説明。とにかく授業が中心。子どもが主体的に授業を創り、学ぶ授業改善と家庭学習改善に取り組んできた。
  - ①主体的に「授業を創る」とはどのようなことか、子どもたちと話し合ってきた。
  - ②各学級で「授業を創る」ためにはどんなルールが必要なのかを話し合ってきた。
  - ③主体性を引き出す単元マネジメントを行い、単元目標や単元計画を子どもたちに示して見通しを持たせたり、子どもたちと一緒に学習課題や単元計画を創ったりしてきた。
  - ④授業のふり返りを活用して家庭学習をリンクさせ、テストなどを目標として設定させながら、どんな家庭学習が必要なのかを考えさせてきた。
  - ⑤生活科・総合的な学習を核とし、地域の学習材を積極的に活用しながら探求的学習に挑戦し、学びの成果を地域に返すことを大切にしてきた。
- ・「共に学ぶ」ための授業改善と学級創りに取り組んできた。
  - ①「共に学ぶ」ツールとして有効的なタブレットを活用し、子どもたちもどんどん使えるようになってきた。例として、発表前の動画チェックで伝え方、伝わり方の検証。外国語で自己紹介、学校紹介を動画化し、他校と交流。Wordで作文作成・推敲を行うなど。
  - ②「伝え合う力」（話す・聴く・読む・書く）を鍛えることに取り組んでいる。自分の気持ちを言語化できないで困っていることも見受けられる。例として新聞記事を読んで考えを書く活動を継続。週末日記を書く。バラエティ日記で、指定されたお題で楽しみながら書く。サイコロトークで、お題に沿って楽しく話し合う。
  - ③「わからない」と言えることや教え合うのが当たり前な学級の雰囲気づくりを行う。
- ・子どもの願いや課題意識を大切にし、「学校を創る」意識を高める活動に取り組んできた。
  - ①自分たちの生活を振り返り、自ら改善しようとする話し合いの場と時間を確保し、6年生を中心として児童会等で解決している。
  - ②縦割り班活動を通して、上学年のよさを下学年にも引き継いでいる。
  - ③この判断力を高める場面指導を繰り返した上で避難訓練等を実施する。
  - ④学校生活を大人が決めたことによって過ごすのではなく、子どもたち（6年生中心）自身も、想定や避難行動の仕方の決定にかかわることができるよう当事者意識をもたせながら行っている。
- ・子どもに始まり、地域に返す総合的な学習の実施に取り組んでいる。
  - ①3年生以上の「総合的な学習の時間」では、子どもの課題意識を大切にしながら、できるだけ地域素材を生かしながら学習をすすめている。
  - ②学習の成果を東郷祭で発表するなどして、保護者や地域に広めてきた。
  - ③最終的に地域をよくするための活動に可能な限りつなげるよう考えている。
- ・「魅力ある学校づくり」（三川町の小中学校が共通に取り組んでいる）アンケート結果からみると、授業に主体的に取り組んでいるという結果が向上していることを喜びたい。2月にまた同じ項目でのアンケートをとる。継続してみたい。
- ・東郷小学校には伝統的行事が残っている。これらの行事を持続可能な行事としていくため工夫をしている。相撲大会については、子どもたちから挙がっていた声を尊重し、また、職員の負担軽減や働き方改革の視点から見直しをすすめている。運動着着用した上に、男子は簡易まわし。女子は相撲ベルト。横綱土俵入りなどの儀式的な内容を最小限に簡素化。1年生の「化粧まわし」づくりは、親子行事として、親子で話し合いながら時間内にできる範囲のものにした。また、凧作りについては、冬休みの宿題になっていたものから、授業のなかで、子どもたちが自分で考えて描くようにする方向で実施を考えている。今後は、3～6年生すべて中凧をつくることにしたい。今年度のみ、6年生が大凧をつくる。材料である竹ひご業者の廃業で、竹ひごの調達を心配していたが、徳島県の業者から仕入れることとなった。



- 年度当初に多くの指導事項等を書いたプリントを家庭に配布していたが、「基本ガイド」として、1枚のペーパーで分かるようにまとめ来年度より始める。
- 持続可能な PTA を創るための組織改編について（令和 6 年度に向けて）の取り組みについては、1月の総会にかけて来年度より実施の運びを考えている。「よくわかる!東郷小の PTA 活動」にまとめ、選出による役員制とサポーター制からなる活動を進めていきたい。コミュニケーションツールで情報の共有を図っていく。
- 4月からこれまでの取り組みについて、写真を取り入れたスライドで説明。自然教室では筏づくりに挑戦。夏のプール開放は、水温が高かったために中止。修学旅行は仙台松島へ3年ぶりに行き震災学習も行った。交流給食も実施するようになった。コロナ禍で黙食に慣れてしまい、せっかくの楽しい給食が沈みがちだったが、上級生の働きかけもあり賑やかさが戻つつある。長距離走も時期を遅らせて取り組んだ。東郷祭では、学年ごとテーマのある発表が行われた。読書祭も上級生の読み聞かせなど実施している。

◇学校運営状況への質問など（委員からの感想を含め）

- 凧づくりが宿題から授業でやる方向に変わり大変ありがたいと感じている。また、相撲大会もなぜやるのか疑問も当初あったが、今は、その意義ややり方の工夫をさせていただいたことに感謝している。
- まわしづくりを親子行事にさせていただいたことは楽しい時間をともにできありがたかった。
- 給食の様子を見ていたら、好き嫌いの多い子どもがみんなと一緒に楽しく食べている様子が見られたので安心した。後片付けも習慣化されつつある。

→給食の残菜も少ない。

- コロナ禍にできなかった校外学習が戻ってきたことがよかった。また、昨年の庄内空港で米を利用者に配布するなど、学習したことを地域に戻すことを考えていただいていることを今後も望みたい。
- タブレットを使った授業など、我々の頃とはあきらかに違ってきている。心配になる「書く」ことについても授業のなかで大事に考えて指導していただいていることに感謝したい。

→タブレット、板書、時間をとって指導している。漢字のミニテストなども実施している。受験がまだ書くことが中心となっている以上は、書くこと、文章をつくることには力を入れていきたい。

- 学校教育目標に向けた取り組みが参観していて理解できたし、何より、1年生が学習にしっかり向き合って集中して取り組んでいる姿に驚いた。給食の後片付けをみても先生たちの指導がしっかり身につけていると感じた。
- 娘から相撲大会について過去に嫌だと言われ苦慮した経験がある。当時から女子児童の抵抗はあり、改善の要求などを声をあげることができなかった。今回のように学校が意見を聴いてくれ、改善策を練ってくれること、そして、さらに改善に向けて検討すると言ってくれていることに感謝したい。凧揚げについても、以前のように老人クラブの協力がなくなっても、できる形で伝統を継承していこうとしている学校の姿勢がありがたい。





- ・学校の雰囲気が年々変わってきている。主体的に学ぼうとしている姿勢が感じられている。将来が楽しみな子どもたちである。
  - ・相撲大会でお母さんたちも行司などをやりながら参加するのもいいのではないか。
  - ・多かった行事時数を、授業時数のなかに組み込めるものは組み込みながら行っている。教育課程の精選と工夫が、児童・保護者・教員の負担軽減につながり、学校生活の安定や子どもの落ち着きに現れている。
  - ・縄跳びの記録表を見せていただいた。6年間の成長の記録がその表からも見られ子どものためになっている。小学校6年間は長いし成長幅も大きい。また、上級生の成長を下級生が見て学ぶことや、下級生の保護者が上級生の姿を見て自分の子どもの成長する姿をビジョンとしてもつことも大切である。
- 教員間でも話題となり、今年度、6年生の授業を1年生から5年生が見る機会を設定した。下級生からは、「6年生は私たちの憧れ。みんなが気持ちよく学習できる授業を創っている」という感想も寄せられている。

◇「どの時代でも大切にすることと時代とともに変えていくこと」について

- ・大切にしたいことはあいさつ。今日の授業でも子どもからのあいさつがよかった。
  - ・時代とともに変えていくこととして、今回話題にあがった伝統的な学校行事のやり方や、PTA 組織改編などがそれになると思う。
  - ・下級生と上級生との関係は、以前とは格段に緩くなってきている。一方、社会に出たときの事を考えると、礼儀などは大切にしていきたい。
  - ・「あいさつしなさいね」だけではなく、「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」など、思いを込めた深みのある指導ができればよい。
- その状況に応じたあいさつや言葉がでてくるように、場面に応じた声かけを大切にしていきたい。
- ・目的は変えなくても、手段や方法は時代にあわせて変えることがあってもかまわない。



◇6年生全員と委員との懇談について

(子どもたちから学校のリーダーとして努力していること)

- ・学校目標である「思い描く学校を共に創り上げる子ども」を達成するためトークタイムを実施している。身の回りの学校生活で気づいたことを10分程度で話し合い、そこで出た解決策を学校全体に発信している。例では、節電を呼びかけるちらしや掲示をしている。
- ・運営委員会として、児童会を盛り上げるためのあいさつ運動に取り組んでいる。みんなが明るく元気に学校生活を送れるように朝から4箇所立って行っている。名人・達人・神などであいさつの積極的な人を紹介している。改善策として取り組んでいきたいのが廊下歩行で活動を進めている。
- ・放送委員会で取り組んでいることは、朝と昼の放送に力をいれて学校を明るくしようとしている。誕生日を迎えた人を紹介したり、行事についてのインタビューをしたりと、放送内容を工夫している。
- ・図書委員会では、できるだけ多くの人に本を読んでもらうため読書祭に力を入れている。また、全校の読み聞かせにも力を入れている。本をたくさん読んでもらうこと、なかよし班の親睦のために行っている。また、全校におすすめの本の紹介をしてもらう予定にしている。
- ・すこやか委員会では、給食のマナーをしっかりとってもらうこと、虫歯予防の歯磨きの徹底。怪我をしないように全校へクイズ式で呼びかけている。
- ・スポーツレク委員会では、全校での「逃走中」などの活動をしているが、ルールを変えながら行っている。今は、鬼ごっこが学校で流行っている。

- ・スクープ委員会では、中央廊下に修学旅行の記録やみんなを楽しませる掲示を行っている。

◇委員の方から子どもたちに

- ・運営委員会で廊下歩行に取り組もうとしているのか。

→先生の前を過ぎると走ったりする人がいるので、掲示物等で正しく歩いてくれるように呼びかける。

- ・この協議会で話してくれる様子などを見て、さすが最上級生で立派だと感じた。
- ・下級生の舵取りをしっかりしてくれている事に感謝。各委員会の取り組みもしっかり企画されていて嬉しい。これからも学校のリーダーとして頑張ってもらいたい。
- ・子どもからも様々な委員会の企画の楽しい様子が聞けて嬉しく思っていた。
- ・受け答えもしっかりしていて、さらに、みんなで委員会活動を行い、学校を創っている事が伝わった。私たちが小学校の頃は、担当の先生から課題がだされて検討することでしたが、皆さんは、自主的に意見を出し合って活動している。下級生も皆さんの姿を見て育ってくれていると思う。
- ・全校の誕生日を紹介し、紹介された子に声をかけられるようになったらもっと楽しく温かな学校になると思う。
- ・委員会ごとに目標があること素晴らしい。まわりの子が応えられなくてもすぐに助ける姿勢やいろいろな子にあわせてルールを変え、みんなで楽しもうと考えていることが温かい学校だと感じた。
- ・今後も、自分たちで考えていく姿勢を大切にしていってほしい。